

外国人留学生チューター活動計画書

<注①> 原本は保管し、コピーを提出すること。
 <注②> 2人のチューターが1人の留学生のチューターとなる場合は、各チューターにつき1枚ずつの計画書の提出が必要です。
 <注③> 鉛筆書きは不可。黒または青のボールペンで記入（パソコン入力不可）

提出日:平成 年 月 日

作成者(チューター)	所属・学年	自然科学研究科 自然システム学専攻 M2	氏名	宙田 義男
対象留学生(フルネーム)	所属・学年	自然科学研究科 自然システム学専攻 M1	氏名	金 大生
1 対象留学生の研究テーマ又は金沢大学での勉学の目的				
<p>自然科学研究科の修士課程に入学したので、今後2年間で修士を修了して、いずれは大学院の入試を受けて博士（後期）課程で「〇〇」というテーマの研究を続けていきたいとのこと。</p> <p>日本語は現在の日本語のレベルは簡単な言葉しかわからないので、生活や勉学に困らない程度に上達したいとのこと。</p> <p>日本文化及び金沢の歴史、風土、生活を知り、教養を深めたいとのこと。</p>				
2 活動予定期間				
2017 年 4 月 1 日 ~ 2017 年 9 月 30 日				
3 活動予定内容				
(1)研究・勉学面				
<ul style="list-style-type: none"> ・授業とその課題を通しての予習や復習に係る、日本語学習補助。 ・論文の執筆の際に係る、日本語の補助。 ・日常生活にかかる日本語の理解度がまだ足りないので、会話を通して日本語の上達を図っていきたい。 				
(2)生活面				
<ul style="list-style-type: none"> ・新規渡日直後のサポートとして、銀行口座の開設、携帯電話の契約等の諸手続きへの同伴をはじめ、大学生活を円滑にすすめていけるよう不備なく支援したい。 				
4 活動方法(時期,回数,時間,場所等)				
<ul style="list-style-type: none"> ・渡日直後の2週間は一番不安も多く、手続きも多いので、メールで連絡をとりながら昼食をとり、具体的支援の確認をすることにした。 ・活動場所は、その都度必要な場所（銀行や市役所、携帯電話ショップ等）に直接同伴することとした。 ・時間割がまだ確定していないので、互いの授業がない時間帯を調整し、週に2回の最低でも2時間はチューター活動を行うこととした。 				
5 指導教員の所見（指導教員の署名と押印を含む）				
<p>金君は研究室のほかのメンバーと積極的にコミュニケーションをとっているが、まだまだ日本語の理解度が低いようであるためチューターの支援が必要に思える。宙田君の活動予定内容や活動方法は適切であり、金君にとってとても助けになるだろう。</p> <p style="text-align: right;">理工研究域機械工学系 教授 金沢 太郎 印</p>				

【重要】

チューターマニュアルの『チューター提出資料の手引き』に記載されている、【チューター活動計画書】の事項に反して作成された計画書は再提出になります。必ず熟読し、注意事項を守って作成してください。